

## ( 8 ) 尼崎市の詳細集計 ( ばく露(工)分類 )

### 集計方法

平成 25 年度までのアンケート回答者のうち、( 3 ) で用いたばく露分類が( 工 ) 分類であり、対象期間である昭和 20 年～平成元年( 1945 年～1989 年 ) 間に尼崎市に居住歴がある者の累計において、行政地区、時点( 昭和 30 年、40 年、50 年、60 年 ) によるクロス集計を行った。

行政地区は中央地区、小田地区、大庄地区、立花地区、武庫地区、園田地区の 6 地区とし、記述不十分等により分類できない場合は地区不明とした。

地区の分類に当たっては、尼崎市史第 10 巻付図「尼崎市小字図」等を参考とした。

また、集計は下記の 2 通りの居住歴により行った。

#### 最長居住歴による集計

「( 7 ) 住所別集計」において尼崎市に最長居住歴のある者( 医療費・未申請弔慰金 196 人、施行前弔慰金 120 人 ) について、対象期間内に尼崎市内で最も長く居住した行政地区( 以下「最長居住地区」という。 ) により集計した。

対象期間中に複数の行政地区に居住歴がある場合には、年単位で計算して最長居住地区を各人 1 つ選択した。対象期間中に最長居住区が複数あった場合は、その中で最も古い住所を 1 つ選択した。

#### 対象期間居住歴による集計

対象期間中に尼崎市に一度でも居住歴がある者について、対象期間中に一度でも居住した行政地区により集計した。対象期間中に複数の行政地区に居住歴がある場合は、重複して集計した。なお、同じ行政地区内の異なる居住歴については 1 つの居住歴として扱い重複集計しなかった。

医療費・未申請弔慰金については、最長居住歴及び対象期間中に居住歴のある者を年度別に集計し、グラフ化した。

さらに、尼崎市に最長居住歴のある者から、地区不明の者を除き、医療費・未申請弔慰金 186 人、施行前弔慰金 110 人の「最長居住地」を地図上にプロットした。

### 結果

#### 医療費・未申請弔慰金アンケート回答者

##### 最長居住歴による集計( 表 - 8 - 1、表 - 8 - 2 )

最長居住歴による集計において、それぞれの地区に最も長く居住していた者は、中央地区 28 人( 男 21、女 7 )、小田地区 129 人( 男 62、女 67 )、大庄地区 3 人( 男 2、女 1 )、立花地区 7 人( 男 3、女 4 )、武庫地区 0 人( 男 0、女 0 )、園田地区 19 人( 男 10、女

9) 地区不明 10 人(男 3、女 7)であった。

最も多い最長居住地区は小田地区であり、小田地区の者 129 人のうち、昭和 30 年時点で最長居住歴のある者は 76 人、昭和 40 年時点は 107 人、昭和 50 年時点は 76 人、昭和 60 年時点は 41 人であった。

なお、年度別の最長居住歴については、図 - 8 - 1 のとおりである。

対象期間居住歴による集計(表 - 8 - 1、表 - 8 - 3)

対象期間居住歴による集計において、各地区に居住歴のある者は、中央地区 54 人(男 31、女 23)、小田地区 177 人(男 86、女 91)、大庄地区 17 人(男 11、女 6)、立花地区 23 人(男 9、女 14)、武庫地区 10 人(男 3、女 7)、園田地区 36 人(男 18、女 18)、地区不明 24 人(男 10、女 14)であり、合計で延べ 341 人であった。

最も多い居住地区は小田地区であり、小田地区の者 177 人のうち、昭和 30 年時点で居住歴のある者は 108 人、昭和 40 年時点は 148 人、昭和 50 年時点は 92 人、昭和 60 年時点は 65 人であった。

なお、年度別の居住歴については、図 - 8 - 2 のとおりである。

#### 施行前弔慰金アンケート回答者

最長居住歴による集計(表 - 8 - 1、表 - 8 - 2)

最長居住歴による集計において、それぞれの地区に最も長く居住していた者は中央地区 14 人(男 5、女 9)、小田地区 68 人(男 32、女 36)、大庄地区 4 人(男 1、女 3)、立花地区 8 人(男 4、女 4)、武庫地区 4 人(男 3、女 1)、園田地区 12 人(男 4、女 8)、地区不明 10 人(男 3、女 7)であった。

最も多い最長居住地区は小田地区であり、小田地区の者 68 人のうち、昭和 30 年時点で最長居住歴のある者は 41 人、昭和 40 年時点は 59 人、昭和 50 年時点は 42 人、昭和 60 年時点は 32 人であった。

対象期間居住歴による集計(表 - 8 - 1、表 - 8 - 3)

対象期間居住歴による集計において、各地区に居住歴のある者は、中央地区 21 人(男 9、女 12)、小田地区 107 人(男 51、女 56)、大庄地区 8 人(男 3、女 5)、立花地区 24 人(男 13、女 11)、武庫地区 9 人(男 7、女 2)、園田地区 22 人(男 10、女 12)、地区不明 24 人(男 9、女 15)であり、合計で延べ 215 人であった。

多い居住地区は小田地区であり、小田地区の者 107 人のうち、昭和 30 年時点で居住歴のある者は 62 人、昭和 40 年時点は 78 人、昭和 50 年時点は 54 人、昭和 60 年時点は 40 人であった。

表 - 8 - 1 . 尼崎市における地区別居住歴累計 (アンケート回答者、工 (人))

給付	行政区	最長居住歴			対象期間に居住歴がある者		
		男	女	計	男	女	計
医療費・未申請弔慰金	中央地区	21	7	28	31	23	54
	小田地区	62	67	129	86	91	177
	大庄地区	2	1	3	11	6	17
	立花地区	3	4	7	9	14	23
	武庫地区	0	0	0	3	7	10
	園田地区	10	9	19	18	18	36
	地区不明	3	7	10	10	14	24
	合計	101	95	196	168	173	341
施行前弔慰金	中央地区	5	9	14	9	12	21
	小田地区	32	36	68	51	56	107
	大庄地区	1	3	4	3	5	8
	立花地区	4	4	8	13	11	24
	武庫地区	3	1	4	7	2	9
	園田地区	4	8	12	10	12	22
	地区不明	3	7	10	9	15	24
	合計	52	68	120	102	113	215

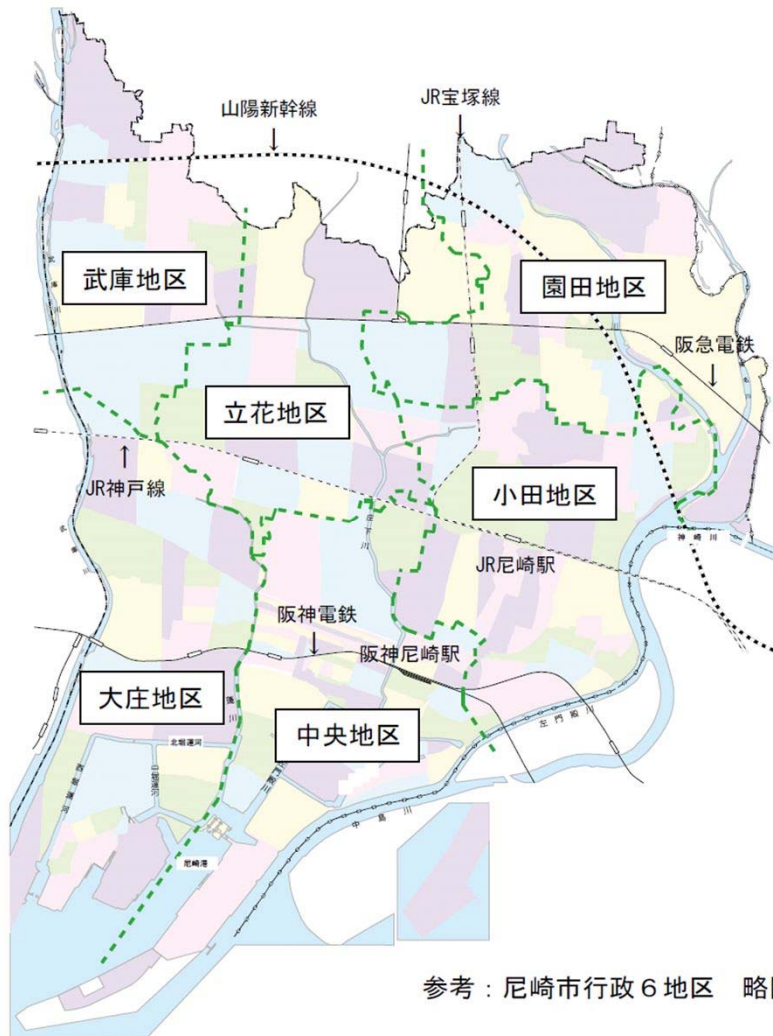


表 - 8 - 2 . 尼崎市における最長居住地区別累計 (アンケート回答者、工 (人))

給付	行政区	最長居住歴	うち、昭和30年時点	うち、昭和40年時点	うち、昭和50年時点	うち、昭和60年時点
			に居住歴のある者	に居住歴のある者	に居住歴のある者	に居住歴のある者
医療費・未申請弔慰金	中央地区	28	17	24	20	13
	小田地区	129	76	107	76	41
	大庄地区	3	2	2	2	2
	立花地区	7	3	3	5	3
	武庫地区	0	0	0	0	0
	園田地区	19	10	12	11	9
	地区不明	10	8	8	4	2
	合計	196	116	156	118	70
施行前弔慰金	中央地区	14	9	11	8	4
	小田地区	68	41	59	42	32
	大庄地区	4	1	2	3	3
	立花地区	8	2	2	6	6
	武庫地区	4	1	2	4	3
	園田地区	12	6	9	8	5
	地区不明	10	7	8	6	2
	合計	120	67	93	77	55

<参考>

尼崎市地区別人口 (男女計)		各年10月1日時点			
行政区	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	
人口	中央地区	90,984	99,331	77,010	63,499
	小田地区	84,986	110,732	100,005	86,524
	大庄地区	68,192	98,706	85,833	70,205
	立花地区	47,822	93,248	124,252	119,454
	武庫地区	13,340	34,604	66,141	76,159
	園田地区	30,183	64,369	92,542	93,274
	尼崎市合計	335,507	500,990	545,783	509,115

出典：尼崎市統計書 (昭和44年、昭和56年、昭和60年) など

表 - 8 - 3 . 尼崎市における居住歴別累計 (アンケート回答者、工分類) (人)

給付	行政区	対象期間に居住歴がある者	うち、昭和30年時点	うち、昭和40年時点	うち、昭和50年時点	うち、昭和60年時点
			に居住歴のある者	に居住歴のある者	に居住歴のある者	に居住歴のある者
医療費・未申請弔慰金	中央地区	54	28	33	22	17
	小田地区	177	108	148	92	65
	大庄地区	17	5	5	4	5
	立花地区	23	5	5	12	11
	武庫地区	10	0	0	3	4
	園田地区	36	11	17	17	17
	地区不明	24	14	12	6	5
	合計	341	171	220	156	124
施行前弔慰金	中央地区	21	15	13	9	5
	小田地区	107	62	78	54	40
	大庄地区	8	3	6	3	4
	立花地区	24	4	6	10	10
	武庫地区	9	1	3	4	5
	園田地区	22	9	12	12	10
	地区不明	24	7	13	7	3
	合計	215	101	131	99	77

図 - 8 - 1 . 年度別尼崎市における地区別最長居住歴 (医療費・未申請弔慰金)

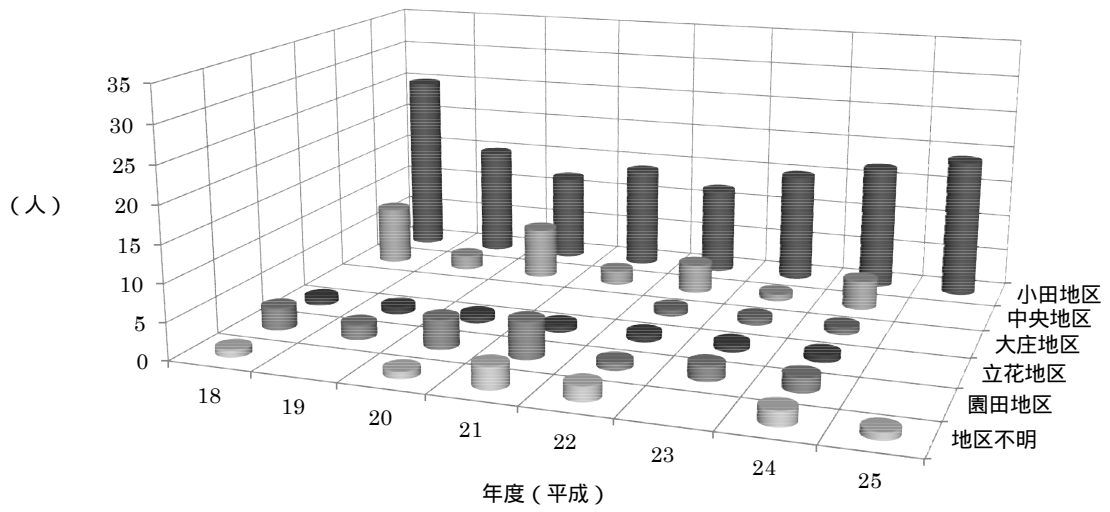
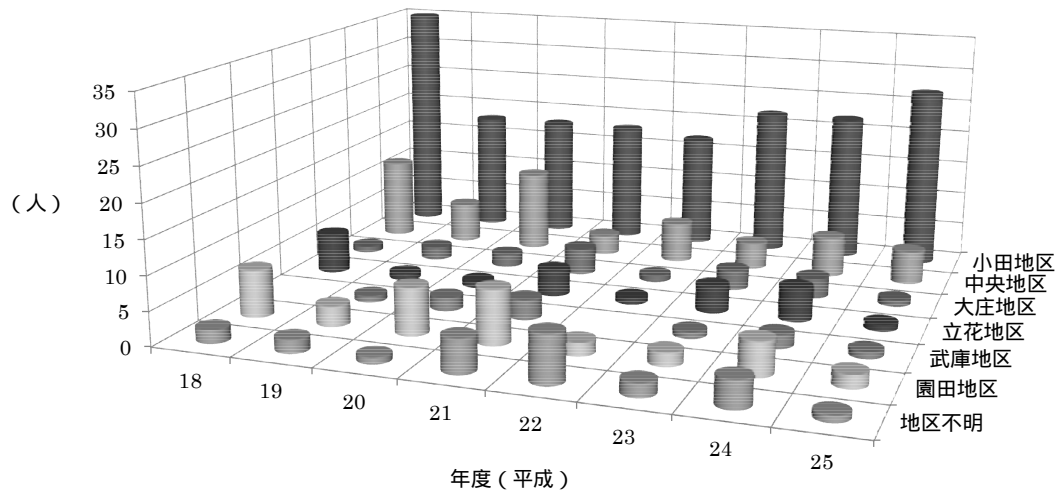
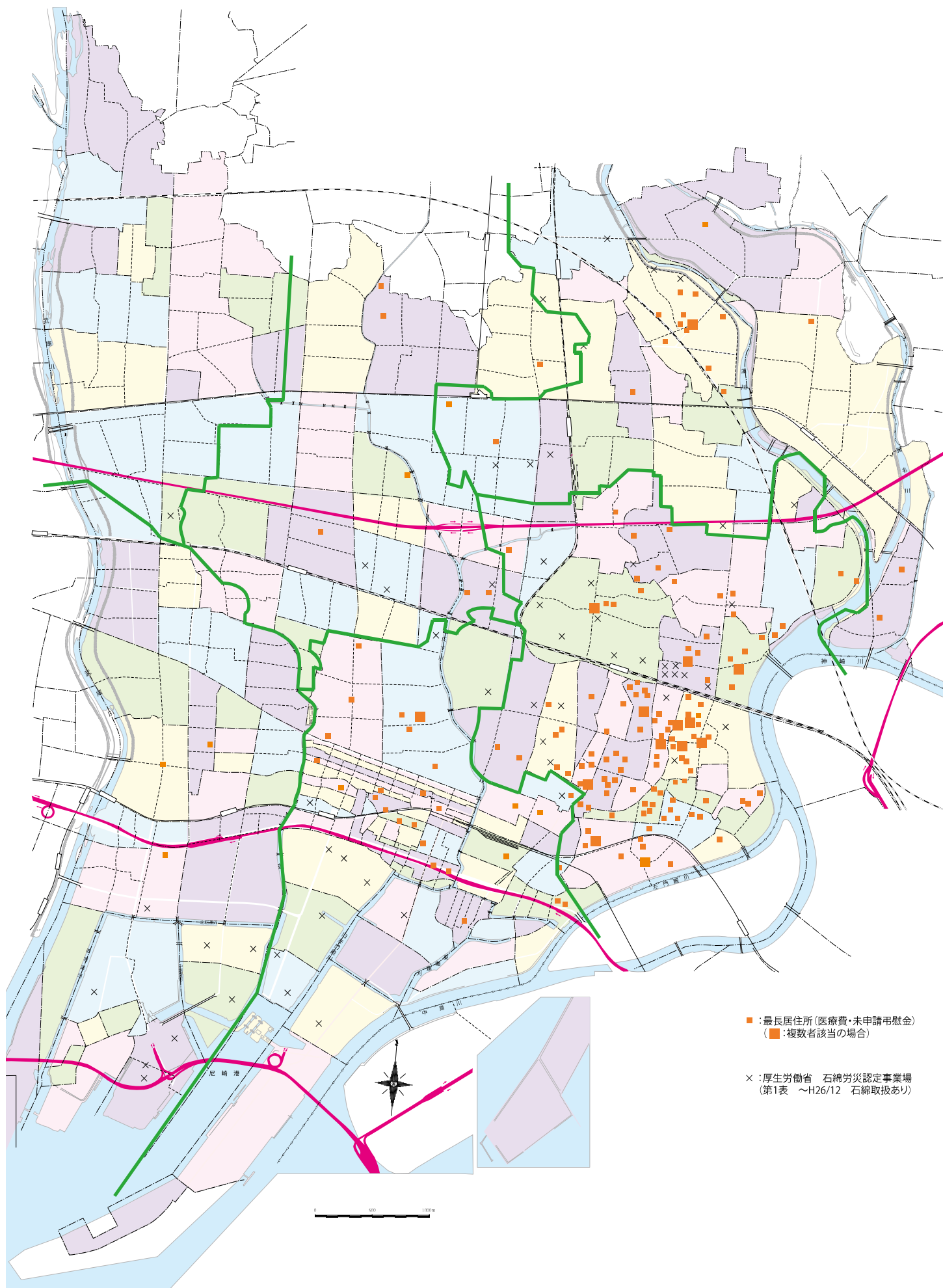
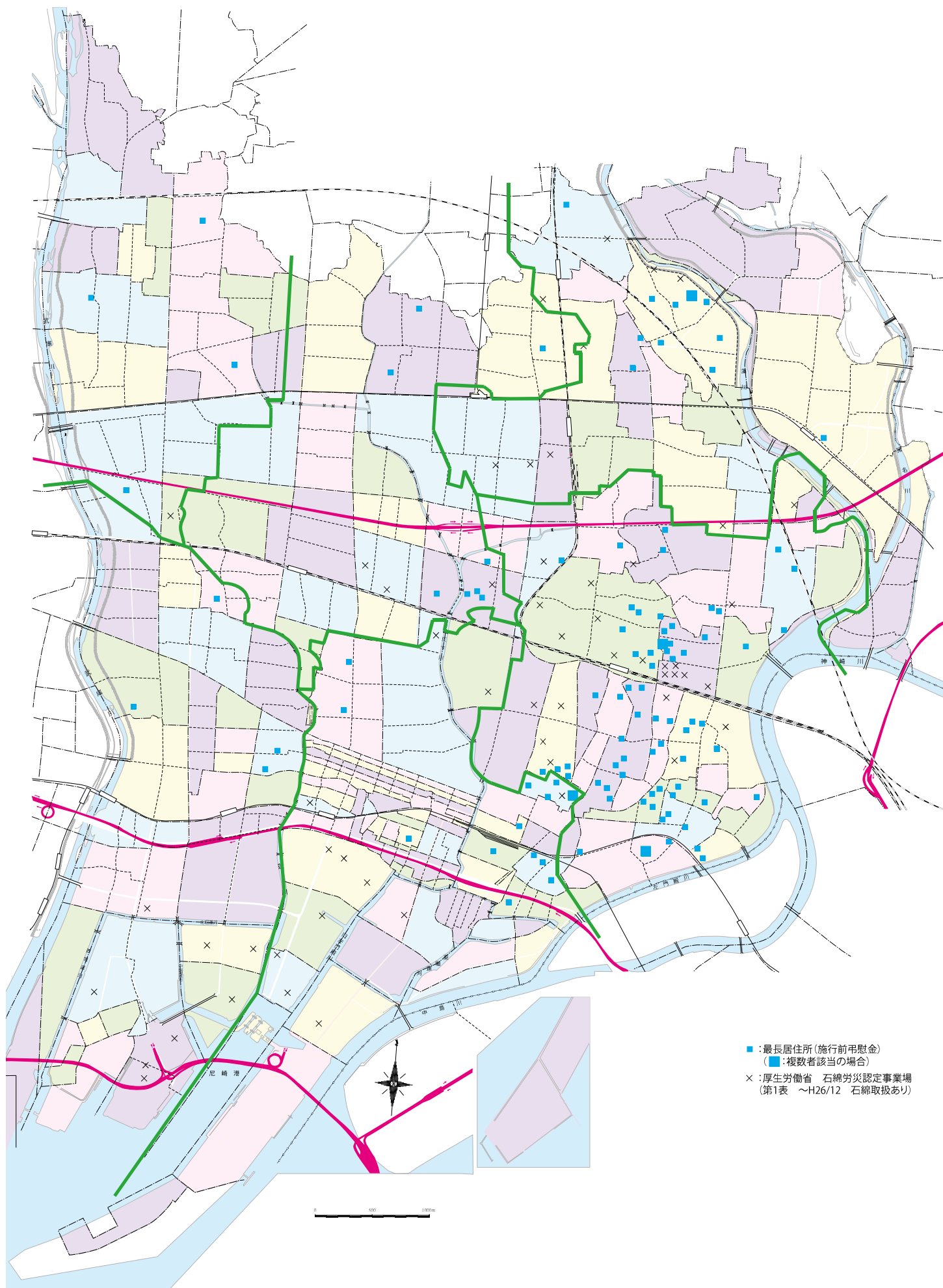


図 - 8 - 2 . 年度別尼崎市における地区別居住歴 (医療費・未申請弔慰金)







- : 最長住所 (施行前弔慰金)  
 (■ : 複数者該当の場合)
- × : 厚生労働省 石綿労災認定事業場  
 (第1表 ~H26/12 石綿取扱あり)



## ( 9 ) 環境省石綿健康リスク調査関連地域におけるばく露分類別集計

### 集計方法

平成 25 年度までのアンケート回答者のうち、昭和 20 年～平成元年( 1945 年～1989 年 ) の期間に環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者について、支給種別 ( 医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金 ) 及び ( 3 ) で用いたばく露分類別に累計を行った。

また、医療費・未申請弔慰金について、年度別集計をグラフ化した。

環境省石綿健康リスク調査関連地域とは、横浜市鶴見区、岐阜県羽島市、大阪府泉南地域等、兵庫県尼崎市、奈良県王寺町及び斑鳩町、北九州市門司区、佐賀県鳥栖市の 7 地域である。大阪府泉南地域等とは、岸和田市・貝塚市・泉佐野市・泉南市・阪南市・河内長野市・熊取町・田尻町・岬町の 9 市町村を指す。

期間中に複数の地域に居住歴がある場合には、全ての地域を重複して集計した。

### 結果

医療費・未申請弔慰金アンケート回答者 ( 表 - 9 - 1 )

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 3,747 人 ( 医療費 3,299 人、未申請弔慰金 448 人 ) であった。そのうち、環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者は延べ 619 人であった。地域ごとに見ると横浜市鶴見区 44 人、岐阜県羽島市 17 人、大阪府泉南地域等 69 人、兵庫県尼崎市 378 人、奈良県王寺町及び斑鳩町 25 人、北九州市門司区 81 人、佐賀県鳥栖市 5 人であった。

全地域のばく露分類 619 人の内訳は ( ア ) 235 人 ( 38.0% ) ( イ ) 21 人 ( 3.4% ) ( ウ ) 11 人 ( 1.8% ) ( エ ) 352 人 ( 56.9% ) であった。延べ居住者数が最も多かった兵庫県尼崎市 378 人のばく露分類の内訳は、( ア ) 104 人 ( 27.5% ) ( イ ) 14 人 ( 3.7% ) ( ウ ) 4 人 ( 1.1% ) ( エ ) 256 人 ( 67.7% ) であった。

なお、年度別の集計は図 - 9 - 1 のとおりである。

施行前弔慰金調査対象者 ( 表 - 9 - 2 )

施行前弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 3,058 人であった。そのうち、環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者は延べ 335 人であった。地域ごとに見ると横浜市鶴見区 31 人、岐阜県羽島市 6 人、大阪府泉南地域等 38 人、兵庫県尼崎市 205 人、奈良県王寺町及び斑鳩町 13 人、北九州市門司区 38 人、佐賀県鳥栖市 4 人であった。

全地域のばく露分類 335 人の内訳は ( ア ) 104 人 ( 31.0% ) ( イ ) 8 人 ( 2.4% ) ( ウ ) 2 人 ( 0.6% ) ( エ ) 221 人 ( 66.0% ) であった。延べ居住者数が最も多かった兵庫県尼崎市 205 人のばく露分類の内訳は、( ア ) 38 人 ( 18.5% ) ( イ ) 3 人 ( 1.5% ) ( ウ ) 0 人、( エ ) 164 人 ( 80.0% ) であった。



表 - 9 - 1 . 累計石綿の健康リスク調査関連地域におけるばく露分類別集計 (医療費・未申請弔慰金、アンケート回答者) (人)

地域名	疾病 分類	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計			
		男			女			計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計													
横浜市 鶴見区	(ア)	15	1	16				16	10	2	12				1		1	27	2	29
	(イ)																			0
	(ウ)								1		1							1		1
	(エ)	4	1	5	7	2	9	14										5	9	14
	計	19	2	21	7	2	9	30	11	2	13	0	0	0	1	0	1	33	11	44
羽島市	(ア)	2		2		1	1	3	2	1	3							4	2	6
	(イ)				1		1	1											1	1
	(ウ)																			0
	(エ)	4		4	4		4	8	1	1	2							5	5	10
	計	6	0	6	5	1	6	12	3	2	5	0	0	0	0	0	0	9	8	17
大阪府 泉南地域 等	(ア)	14	1	15	5		5	20	12	1	13	1		1	1		1	29	6	35
	(イ)		1	1	2		2	3										1	2	3
	(ウ)				1		1	1	1		1							1	1	2
	(エ)	9	2	11	14	1	15	26	3		3							14	15	29
	計	23	4	27	22	1	23	50	16	1	17	1	0	1	1	0	1	45	24	69
尼崎市	(ア)	69	7	76	3	1	4	80	19	3	22				2		2	97	7	104
	(イ)	2	1	3	7	1	8	11	1	2	3							4	10	14
	(ウ)				4		4	4											4	4
	(エ)	117	6	123	115	6	121	244	6	5	11	1		1				130	126	256
	計	188	14	202	129	8	137	339	26	10	36	1	0	1	2	0	2	231	147	378
王寺町・ 斑鳩町	(ア)	4		4			4	4	1		1							5		5
	(イ)				1		1	1											1	1
	(ウ)																			0
	(エ)	7		7	6	1	7	14	3	1	4	1		1				11	8	19
	計	11	0	11	7	1	8	19	4	1	5	1	0	1	0	0	0	16	9	25
北九州市 門司区	(ア)	28	3	31	4		4	35	16	1	17				2		2	49	5	54
	(イ)				2		2	2											2	2
	(ウ)	1		1	2		2	3										1	2	3
	(エ)	10	1	11	8	1	9	20	2		2							13	9	22
	計	39	4	43	16	1	17	60	18	1	19	0	0	0	2	0	2	63	18	81
鳥栖市	(ア)				2		2	2											2	2
	(イ)																			0
	(ウ)	1		1				1										1		1
	(エ)	1		1	1		1	2										1	1	2
	計	2	0	2	3	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	5
合計	(ア)	132	12	144	14	2	16	160	60	8	68	1		1	6		6	211	24	235
	(イ)	2	2	4	13	1	14	18	1	2	3							5	16	21
	(ウ)	2		2	7		7	9	2		2							4	7	11
	(エ)	152	10	162	155	11	166	328	15	7	22	2		2				179	173	352
	計	288	24	312	189	14	203	515	78	17	95	3	0	3	6	0	6	399	220	619

図 - 9 - 1 . 年度別石綿の健康リスク調査関連地域別集計 (医療費・未申請弔慰金、アンケート回答者)

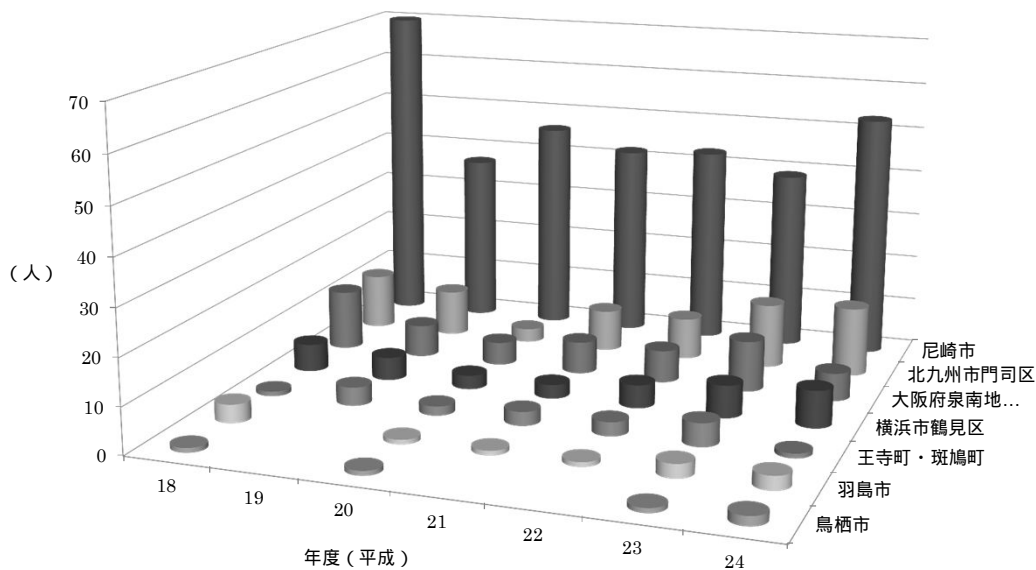


表 - 9 - 2 . 累計石綿の健康リスク調査関連地域におけるばく露分類別集計 ( 施行前弔慰金、アンケート回答者 ) ( 人 )

地域名	疾病 分類	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計			
		男			女			計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計													
横浜市 鶴見区	(ア)	9	8	17				17	3		3	1		1				21		21
	(イ)																			0
	(ウ)																			0
	(エ)	2	1	3	6	1	7	10										3	7	10
	計	11	9	20	6	1	7	27	3	0	3	1	0	1	0	0	0	24	7	31
羽島市	(ア)	1		1				1										1		1
	(イ)																			0
	(ウ)																			0
	(エ)	1	1	2	2	1	3	5										2	3	5
	計	2	1	3	2	1	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	6
大阪府 泉南地域 等	(ア)	11	2	13	1		1	14	2		2	1	1	2				16	2	18
	(イ)				1		1	1							1		1	1	1	2
	(ウ)		1	1	1		1	2										1	1	2
	(エ)	6	1	7	4	4	8	15	1		1							8	8	16
	計	17	4	21	7	4	11	32	3	0	3	1	1	2	1	0	1	26	12	38
尼崎市	(ア)	25	7	32	1	1	2	34	3		3		1	1				35	3	38
	(イ)					2	2	2			1	1							3	3
	(ウ)																			0
	(エ)	60	16	76	64	22	86	162	2		2							78	86	164
	計	85	23	108	65	25	90	198	5	1	6	0	1	1	0	0	0	113	92	205
玉寺町・ 斑鳩町	(ア)								1		1							1		1
	(イ)				1		1	1											1	1
	(ウ)																			0
	(エ)	2	1	3	8		8	11										3	8	11
	計	2	1	3	9	0	9	12	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4	9	13
北九州市 門司区	(ア)	12	5	17	2	2	4	21	2		2							19	4	23
	(イ)					1	1	1											1	1
	(ウ)																			0
	(エ)	3	3	6	2	5	7	13		1	1							6	8	14
	計	15	8	23	4	8	12	35	2	1	3	0	0	0	0	0	0	25	13	38
鳥栖市	(ア)	1		1				1				1		1				2		2
	(イ)					1	1	1											1	1
	(ウ)																			0
	(エ)				1		1	1											1	1
	計	1	0	1	1	1	2	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	2	4
合計	(ア)	59	22	81	4	3	7	88	11		11	3	2	5				95	9	104
	(イ)				2	4	6	6		1	1				1		1	1	7	8
	(ウ)		1	1	1		1	2										1	1	2
	(エ)	74	23	97	87	33	120	217	3	1	4							100	121	221
	計	133	46	179	94	40	134	313	14	2	16	3	2	5	1	0	1	197	138	335

( 1 0 ) 生年別集計

集計方法

平成 25 年度までのアンケート回答者のうち、( 3 ) で用いたばく露分類で分類された胸膜中皮腫の者について、医療費アンケート回答者は療養開始年齢を、未申請弔慰金アンケート回答者は死亡時年齢を用いて生年別に集計した。

結果

ばく露分類のあるアンケート回答者( 図 - 1 0 - 1、表 - 1 0 - 1 )

ばく露分類のある胸膜中皮腫の者は 1,847 人であった。最も多かったのは生年 1940～1944 年で療養開始年齢 65～69 歳が 243 人で、次いで生年 1935～1939 年で療養開始年齢 70～74 歳が 194 人であった。

なお、男女別の集計でも同様の傾向であった。

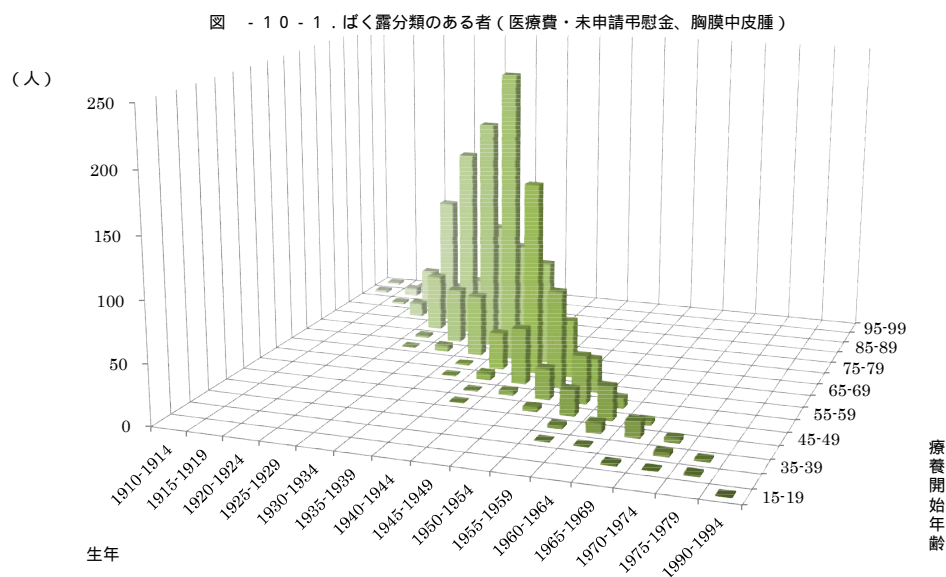


表 - 1 0 - 1 . 累計アンケート回答者生年別集計( 医療費・未申請弔慰金、胸膜中皮腫 )

療養開始年齢	生年															合計(人)	割合(%)			
	1910-1914	1915-1919	1920-1924	1925-1929	1930-1934	1935-1939	1940-1944	1945-1949	1950-1954	1955-1959	1960-1964	1965-1969	1970-1974	1975-1979	1980-1984			1985-1989	1990-1994	
15-19																		1	1	0.1
30-34																			5	0.3
35-39										1	1							8	0.4	
40-44										3	9	14	4					30	1.6	
45-49								1		4	22	28	4					59	3.2	
50-54								1	4	26	40	9						80	4.3	
55-59							1	6	47	81	28							163	8.8	
60-64							1	31	160	48								240	13.0	
65-69				1	5	52	243	86										387	21.0	
70-74				2	46	194	91											333	18.0	
75-79				48	160	98												306	16.6	
80-84			12	108	39													159	8.6	
85-89		2	34	22														58	3.1	
90-94	2	7	6															15	0.8	
95-99	2	1																3	0.2	
合計(人)	4	10	52	181	250	346	373	297	159	94	47	20	9	4	1			1,847		
割合(%)	0.2	0.5	2.8	9.8	13.5	18.7	20.2	16.1	8.6	5.1	2.5	1.1	0.5	0.2	0.1					

ばく露分類（ア）のアンケート回答者（図 - 10 - 2、表 - 10 - 2）

ばく露分類（ア）で胸膜中皮腫の者は 999 人であった。最も多かったのは生年 1940～1944 年で療養開始年齢 65～69 歳が 144 人で、次いで生年 1935～1939 年で療養開始年齢 70～74 歳が 126 人であった。

なお、男女別の集計でも同様の傾向であった。

図 - 10 - 2 . ばく露分類（ア）の者（医療費・未申請弔慰金、胸膜中皮腫）

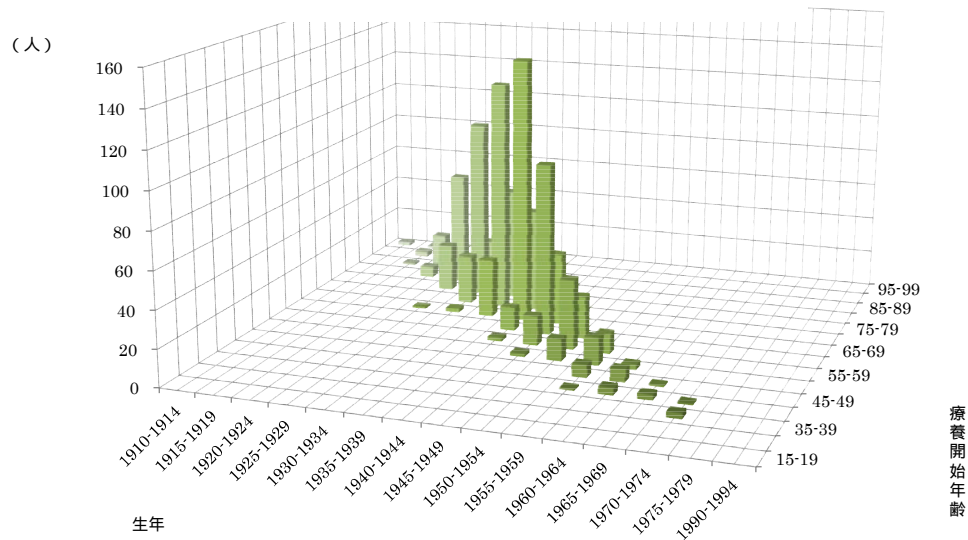


表 - 10 - 2 . 累計アンケート回答者生年別集計（医療費・未申請弔慰金、胸膜中皮腫、ア分類）

療養開始年齢	生年															合計 (人)	割合 (%)
	1910-1914	1915-1919	1920-1924	1925-1929	1930-1934	1935-1939	1940-1944	1945-1949	1950-1954	1955-1959	1960-1964	1965-1969	1970-1974	1975-1979	1990-1994		
15-19																0	0.0
30-34																0	0.0
35-39													3			3	0.3
40-44										1	4	3	1			9	0.9
45-49										7	7	1				15	1.5
50-54								2	12	15	3					32	3.2
55-59							2	16	38	11						67	6.7
60-64							13	93	23							129	12.9
65-69				1	2	32	144	39								218	21.8
70-74					27	126	56									209	20.9
75-79				26	98	61										185	18.5
80-84			6	62	25											93	9.3
85-89		1	20	8												29	2.9
90-94		3	4													7	0.7
95-99	2	1														3	0.3
合計(人)	2	5	30	97	152	219	215	150	73	34	14	4	4	0	0	999	
割合(%)	0.2	0.5	3.0	9.7	15.2	21.9	21.5	15.0	7.3	3.4	1.4	0.4	0.4	0.0	0.0		

ばく露分類(工)のアンケート回答者(図 - 10 - 3、表 - 10 - 3)

ばく露分類(工)で胸膜中皮腫の者は752人であった。最も多かったのは生年1940～1944年で療養開始年齢65～69歳が90人で、次いで生年1935～1939年で療養開始年齢70～74歳が63人であった。

なお、男女別の集計でも同様の傾向であった。

図 - 10 - 3 . ばく露分類(工)の者(医療費・未申請弔慰金、胸膜中皮腫)

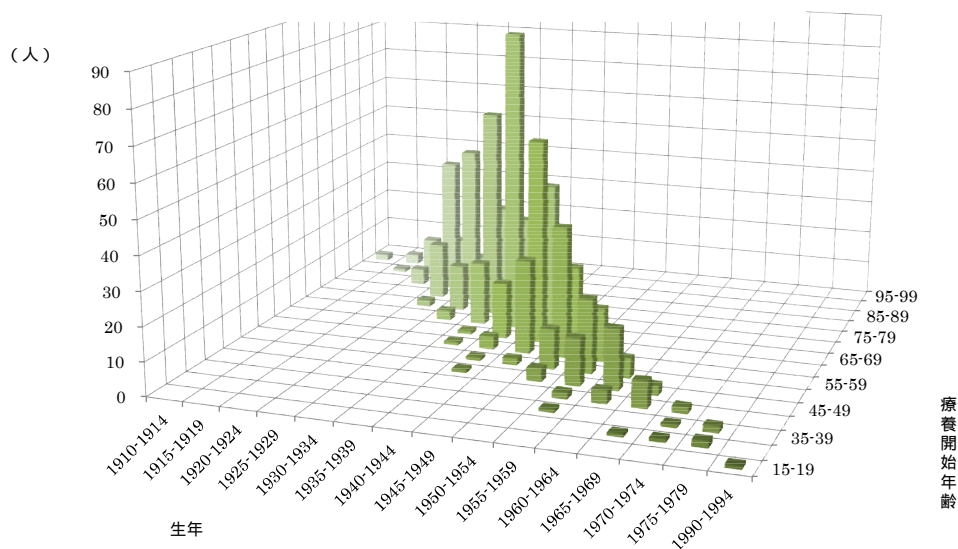


表 - 10 - 3 . 累計アンケート回答者生年別集計(医療費・未申請弔慰金、胸膜中皮腫、工分類)

療養開始 年齢	生年															合計 (人)	割合 (%)	
	1910- 1914	1915- 1919	1920- 1924	1925- 1929	1930- 1934	1935- 1939	1940- 1944	1945- 1949	1950- 1954	1955- 1959	1960- 1964	1965- 1969	1970- 1974	1975- 1979	1990- 1994			
15-19																1	1	0.1
30-34																	4	0.5
35-39										1							4	0.5
40-44										2	4	8					16	2.1
45-49							1		4	14	18	3					40	5.3
50-54							1	2	12	22	6						43	5.7
55-59						1	4	28	39	16							88	11.7
60-64						1	17	61	24								103	13.7
65-69					3	19	90	45									157	20.9
70-74				2	14	63	31										110	14.6
75-79				17	48	31											96	12.8
80-84			5	41	11												57	7.6
85-89		1	12	13													26	3.5
90-94	2	3	2														7	0.9
95-99																	0	0.0
合計(人)	2	4	19	73	76	115	144	136	79	55	28	12	4	4	1	752		
割合(%)	0.3	0.5	2.5	9.7	10.1	15.3	19.1	18.1	10.5	7.3	3.7	1.6	0.5	0.5	0.1			

### 3.まとめ

#### 3-1.平成25年度

##### (1)被認定者と調査対象者

平成25年度に認定を受けた被認定者は、医療費被認定者639人、未申請弔慰金被認定者150人、施行前弔慰金被認定者35人で合計824人であった。

被認定者のうち、調査対象者の総数は700人であり、本調査ではこの調査対象者を集計対象とした。支給種別にみると、医療費調査対象者527人、未申請弔慰金調査対象者138人、施行前弔慰金調査対象者35人であった。

調査対象者700人中、アンケート回答者は591人であり、回答率は84.4%であった。支給別に見ると、医療費調査対象者は527人中451人(回答率85.6%)、未申請弔慰金調査対象者は138人中112人(回答率81.2%)、施行前弔慰金調査対象者は35人中28人(回答率80.0%)から回答があった。

##### (2)年齢別集計

###### 医療費調査対象者の申請時年齢

医療費調査対象者の平均申請時年齢は70.6歳(中央値71歳)であった。疾病別では、中皮腫平均は70.2歳(中央値71歳)、肺がん平均は72.8歳(中央値72歳)、石綿肺平均は63.0歳(中央値69歳)、びまん性胸膜肥厚平均は73.2歳(中央値80歳)であった。

###### 未申請弔慰金調査対象者の死亡時年齢

未申請弔慰金調査対象者の平均死亡時年齢は74.0歳(中央値76歳)であった。疾病別では、中皮腫平均は73.6歳(中央値76歳)、肺がん平均は74.7歳(中央値76歳)、石綿肺平均は73.0歳(中央値73歳)、びまん性胸膜肥厚平均は79.3歳(中央値77歳)であった。

###### 施行前弔慰金調査対象者の死亡時年齢

施行前弔慰金調査対象者の平均死亡時年齢は68.6歳(中央値70歳)であった。疾病別では、中皮腫平均は69.0歳(中央値70歳)、肺がん平均は67.5歳(中央値68歳)、石綿肺平均は59.0歳(中央値59歳)で、びまん性胸膜肥厚の調査対象者は0人であった。

##### (3)ばく露分類別集計

平成25年度アンケート回答者について、(ア)~(エ)にばく露分類を行い、支給種別(医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金)に集計を行った。複数に分類できる場合は、(ア)(イ)(ウ)の順で優先してばく露分類を1つに決定した。

医療費・未申請弔慰金調査対象者665人(医療費527人、未申請弔慰金138人)のうち、アンケート回答者は563人であった。ばく露分類の内訳は、(ア)359人(63.8%)

(イ) 13人(2.3%) (ウ) 8人(1.4%) (エ) 183人(32.5%)であった。

施行前弔慰金調査対象者 35人のうち、アンケート回答者は 28人であった。ばく露分類の内訳は、(ア) 19人(67.9%) (イ) 0人、(ウ) 0人、(エ) 9人(32.1%)であった。

#### (4) 職業分類別集計

平成 25 年度調査対象者について、アンケート票の職種に関する回答内容から従事した職業別に分類し、支給種別(医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金)に集計を行った。職業分類は平成 9 年度 12 月改訂版の日本標準職業分類に基づき分類を行った。

##### 医療費・未申請弔慰金アンケート回答者

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者 563人(医療費 451人、未申請弔慰金 112人)中、職業分類について回答を得られたのは 502人であった。職業従事者は延べ 1,013人であり、1人あたり平均 2.0回の職歴があった。

大分類で最も従事者の多い職業は「I-1 製造・制作作業者」315人であり、次いで「I-3 採掘・建設・労務作業者」232人、「C 事務従事者」118人であった。

##### 施行前弔慰金アンケート回答者

施行前弔慰金調査対象者のうち、アンケートに回答のあった者 28人中、職業分類について回答を得られたのは 22人であった。職業従事者は延べ 45人であり、1人あたり平均 2.0回の職歴があった。

大分類で最も従事者の多い職業は「I-1 製造・制作作業者」16人であり、次いで「I-3 採掘・建設・労務作業者」が 9人であった。

#### (5) 産業分類別集計

平成 25 年度調査対象者について、アンケート票の所属した事業所(企業)名を産業別に分類し、支給種別(医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金)に集計を行った。産業分類は平成 14 年度 3 月改訂版の日本標準産業分類に基づき分類を行った。

##### 医療費・未申請弔慰金アンケート回答者

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケートに回答のあった者 563人(医療費 451人、未申請弔慰金 112人)中、産業分類について回答を得られたのは 503人であった。産業分類別従事者は延べ 1,039人であり、1人あたり平均 2.1個の産業に分類された。

大分類で最も従事者の多い産業は「F 製造業」361人であり、次いで「E 建設業」243人、「J 卸売・小売業」93人であった。

##### 施行前弔慰金アンケート回答者

施行前弔慰金調査対象者のうち、アンケートに回答のあった者 28人中、産業分類について回答を得られたのは 22人であった。産業分類別従事者は延べ 44人であり、1人あたり平均 2.0個の産業に分類された。

大分類で最も従事者の多い産業は「F 製造業」18人であり、次いで「E 建設業」9人で



あった。

#### (6) 住所別集計

平成 25 年度調査対象者のうち、アンケートに記入のある昭和 20 年～平成元年（1945 年～1989 年）間の居住歴中、最も長く居住した住所を 1 つ選んで集計した。また、(工) 分類についても同様の集計を行った。

< 医療費・未申請弔慰金アンケート回答者 >

全体

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 563 人（医療費 451 人、未申請弔慰金 112 人）で、うち居住歴に関する回答を得られたのは 532 人であった。

都道府県別では、最も多かったのは大阪府 67 人、次いで東京都 64 人、兵庫県 47 人、愛知県 30 人、福岡県 25 人、埼玉県 24 人、神奈川県 23 人であった。市区町村別では、最も多かったのは尼崎市 28 人、次いで大阪市 22 人、横浜市 12 人、名古屋市及び神戸市 10 人であった。

(工) 分類

(工) 分類の医療費・未申請弔慰金アンケート回答者は 183 人（医療費 146 人、未申請弔慰金 37 人）で、うち居住歴に関する回答を得られたのは 171 人であった。

都道府県別では、最も多かったのは大阪府 30 人、次いで兵庫県 26 人、東京都 18 人、北海道 10 人であった。市区町村別では、最も多かったのは尼崎市 20 人、次いで大阪市 10 人、堺市 7 人であった。

< 施行前弔慰金アンケート回答者 >

全体

施行前弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 28 人で、うち居住歴に関する回答を得られたのは 25 人であった。

都道府県別では、最も多かったのは宮城県及び福島県の 4 人、次いで大阪府 3 人であった。市区町村別では、大阪市 3 人であった。

(工) 分類

(工) 分類の施行前弔慰金アンケート回答者は 9 人で、うち居住歴に関する回答を得られたのは 8 人であった。

都道府県別では、福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、静岡県、三重県、大阪府及び兵庫県が 1 人であった。

#### (7) 環境省石綿健康リスク調査関連地域におけるばく露分類別集計

平成 25 年度アンケート回答者のうち、昭和 20 年～平成元年（1945 年～1989 年）の期間に、環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者について、支給種別及びばく露分類別に集計を行った。環境省石綿健康リスク調査関連地域とは、横浜市鶴見区、岐阜

県羽島市、大阪府泉南地域等、兵庫県尼崎市、奈良県王寺町及び斑鳩町、北九州市門司区、佐賀県鳥栖市の7地域である。

#### 医療費・未申請弔慰金アンケート回答者

ばく露分類のある医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は563人(医療費451人、未申請弔慰金112人)であった。環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者は延べ87人であった。地域ごとに見ると横浜市鶴見区7人、岐阜県羽島市4人、大阪府泉南地域等13人、兵庫県尼崎市48人、奈良県王寺町及び斑鳩町6人、北九州市門司区9人、佐賀県鳥栖市0人であった。

全地域のばく露分類87人の内訳は(ア)43人、(イ)0人、(ウ)1人、(エ)43人であった。

#### 施行前弔慰金アンケート回答者

ばく露分類のある施行前弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は28人であった。環境省石綿健康リスク調査関連地域等に居住歴がある者は兵庫県尼崎市の1人であった。

ばく露分類では(エ)1人であった。

### 3 - 2 . 累計 (平成 18 年度 ~ 平成 25 年度)

#### ( 1 ) 被認定者と調査対象者

平成 18 年度 ~ 平成 25 年度に認定を受けた被認定者は、医療費被認定者 5,318 人、未申請弔慰金被認定者 598 人、施行前弔慰金被認定者 3,555 人で合計 9,471 人であった。

被認定者のうち、調査対象者の総数は 7,806 人であり、本調査ではこの調査対象者を集計対象とした。支給種別にみると、医療費調査対象者 3,964 人、未申請弔慰金調査対象者 541 人、施行前弔慰金調査対象者 3,301 人であった。

調査対象者 7,806 人中、アンケート回答者は 6,805 人であり、回答率は 87.2% であった。支給別に見ると、医療費アンケート回答者は 3,964 人中 3,299 人 (回答率 83.2%)、未申請弔慰金アンケート回答者は 541 人中 448 人 (回答率 82.8%)、施行前弔慰金アンケート回答者は 3,301 人中 3,058 人 (回答率 92.6%) であった。

#### ( 2 ) 年齢別集計

累計調査対象者について、対象者の年齢別集計を支給種別 (医療費、未申請弔慰金、施行前弔慰金) に行った。医療費調査対象者は申請時の年齢を、弔慰金調査対象者は死亡時の年齢を用いて集計した。

##### 医療費調査対象者の申請時年齢

医療費調査対象者の平均申請時年齢は 68.8 歳 (中央値 69 歳) であった。疾病別では、中皮腫平均は 68.1 歳 (中央値 69 歳)、肺がん平均は 72.0 歳 (中央値 72 歳)、石綿肺平均は 73.1 歳 (中央値 74 歳)、びまん性胸膜肥厚平均は 72.8 歳 (中央値 74 歳) であった。

##### 未申請弔慰金調査対象者の死亡時年齢

未申請弔慰金調査対象者の平均死亡時年齢は 74.3 歳 (中央値 76 歳) であった。疾病別では、中皮腫平均は 74.0 歳 (中央値 75 歳)、肺がん平均は 75.3 歳 (中央値 76 歳)、石綿肺平均は 78.0 歳 (中央値 78 歳)、びまん性胸膜肥厚平均は 75.8 歳 (中央値 74 歳) であった。

##### 施行前弔慰金調査対象者の死亡時年齢

施行前弔慰金調査対象者の平均死亡時年齢は 68.3 歳 (中央値 70 歳) であった。疾病別では、中皮腫平均は 68.2 歳 (中央値 70 歳)、肺がん平均は 69.6 歳 (中央値 70 歳)、石綿肺平均は 75.5 歳 (中央値 74 歳)、びまん性胸膜肥厚平均は 80.1 歳 (中央値 82 歳) であった。

#### ( 3 ) ばく露分類別集計

累計アンケート回答者について、(ア) ~ (エ) にばく露分類を行い、支給種別 (医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金) に集計を行った。複数に分類できる場合は、(ア)(イ)(ウ) の順で優先してばく露分類を 1 つに決定した。

#### 医療費・未申請弔慰金アンケート回答者

医療費・未申請弔慰金調査対象者 4,505 人（医療費 3,964 人、未申請弔慰金 541 人）のうち、アンケートの回答者は 3,747 人であった。ばく露分類の内訳は、（ア）2,235 人（59.6%）（イ）109 人（2.9%）（ウ）86 人（2.3%）（エ）1,317 人（35.1%）であった。

#### 施行前弔慰金アンケート回答者

施行前弔慰金調査対象者 3,301 人のうち、アンケートの回答者は 3,058 人であった。ばく露分類の内訳は、（ア）1,550 人（50.7%）（イ）51 人（1.7%）（ウ）60 人（2.0%）（エ）1,397 人（45.7%）であった。

### （４）職業分類別集計

累計調査対象者について、アンケート票の職種に関する回答内容から従事した職業別に分類し、支給種別（医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金）に集計を行った。職業分類は平成 9 年度 12 月改訂版の日本標準職業分類に基づき分類を行った。

#### 医療費・未申請弔慰金アンケート回答者

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうち、アンケート回答者 3,747 人（医療費 3,299 人、未申請弔慰金 448 人）中、職業分類について回答を得られたのは 3,290 人であった。職業従事者は延べ 6,046 人であり、1 人あたり平均 1.8 回の職歴があった。

大分類で最も従事者の多い職業は「I-1 製造・制作作業者」1,803 人であり、次いで「I-3 採掘・建設・労務作業者」1,318 人、「C 事務従事者」873 人であった。

#### 施行前弔慰金アンケート回答者

施行前弔慰金調査対象者のうち、アンケート回答者 3,058 人中、職業分類について回答を得られたのは 2,374 人であった。職業従事者は延べ 3,950 人であり、1 人あたり平均 1.7 回の職歴があった。

大分類で最も従事者の多い職業は「I-1 製造・制作作業者」1,057 人であり、次いで「I-3 採掘・建設・労務作業者」741 人、「C 事務従事者」572 人であった。

### （５）産業分類別集計

累計調査対象者について、アンケート票の所属した事業所（企業）名を産業別に分類し、支給種別（医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金）に集計を行った。産業分類は平成 14 年度 3 月改訂版の日本標準産業分類に基づき分類を行った。

#### 医療費・未申請弔慰金アンケート回答者

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうち、アンケート回答者 3,747 人（医療費 3,299 人、未申請弔慰金 448 人）中、産業分類について回答を得られたのは 3,289 人であった。産業分類別従事者は延べ 6,319 人であり、1 人あたり平均 1.9 個の産業に分類された。

大分類で最も従事者の多い産業は「F 製造業」2,339 人であり、次いで「E 建設業」1,336 人、「J 卸売・小売業」544 人であった。

#### 施行前弔慰金アンケート回答者

施行前弔慰金調査対象者のうち、アンケート回答者 3,058 人中、産業分類について回答を得られたのは 2,412 人であった。産業分類別従事者は延べ 4,160 人であり、1 人あたり平均 1.7 個の産業に分類された。

大分類で最も従事者の多い産業は「F 製造業」1,467 人であり、次いで「E 建設業」681 人、「J 卸売・小売業」373 人であった。

#### (6) 建設業における特定の職歴がある者についての集計

アンケート回答者で、産業分類別集計において「E.建設業」に従事歴のある者 2,017 人（医療費・未申請弔慰金 1,336 人、施行前弔慰金 681 人）のうち、より詳細に、特定の職種に従事歴のある者を抽出、集計を行った。

##### 医療費・未申請弔慰金アンケート回答者

医療費・未申請弔慰金アンケート回答者（産業分類「E.建設業」1,336 人）については、はつり工・解体工 70 人、左官 74 人、築炉工 5 人、電気工 90 人、塗装工 47 人、内装工 78 人、保温工・断熱工 35 人、大工 181 人、吹付工 20 人、事務 41 人、配管工 91 人、型枠工 6 人の計 738 人であった。

##### 施行前弔慰金アンケート回答者

施行前弔慰金アンケート回答者（産業分類「E.建設業」681 人）については、はつり工・解体工 43 人、左官 37 人、築炉工 1 人、電気工 21 人、塗装工 17 人、内装工 25 人、保温工・断熱工 21 人、大工 92 人、吹付工 5 人、事務 26 人、配管工 42 人、型枠工 2 人の計 332 人であった。

#### (7) 住所別集計

調査対象者のうち、アンケートに記入のある昭和 20 年～平成元年（1945～1989 年）間の居住歴で最も長く居住した住所を 1 つ選んで集計した。また、(工)分類についても同様の集計を行った。

##### <医療費・未申請弔慰金アンケート回答者>

##### 全体

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケートに回答のあった 3,747 人（医療費 3,299 人、未申請弔慰金 448 人）中、居住歴に関する回答を得られたのは 3,578 人であった。

都道府県別では、最も多かったのは兵庫県 449 人、次いで大阪府 410 人、東京都 373 人、神奈川県 191 人、福岡県 182 人であった。市区町村別では、最も多かったのは尼崎市 269 人、次いで大阪市 160 人、横浜市 97 人、名古屋市 69 人、神戸市 68 人であった。

##### (工)分類

(工)分類の医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケートに回答のあった 1,317

人（医療費 1,174 人、未申請弔慰金 143 人）のうち、最長居住歴に関する回答を得られたのは 1,262 人であった。

都道府県別では、最も多かったのは兵庫県 254 人、次いで大阪府の 173 人、東京都 147 人、神奈川県 65 人、北海道 48 人であった。市区町村別では、最も多かったのは尼崎市 196 人、次いで大阪市 61 人、横浜市 35 人であった。

< 施行前弔慰金アンケート回答 >

全体

施行前弔慰金調査対象者のうちアンケートの回答のあった 3,058 人中、居住歴に関する回答を得られたのは 2,915 人であった。

都道府県別では、最も多かったのは兵庫県 312 人、次いで大阪府 281 人、東京都 270 人、神奈川県 171 人、北海道 134 人であった。市区町村別では、最も多かったのは尼崎市 143 人、次いで大阪市 138 人、横浜市 81 人、神戸市 70 人であった。

(工) 分類

(工) 分類の施行前弔慰金調査対象者のうちアンケートの回答のあった 1,397 人中、最長居住歴に関する回答を得られたのは 1,323 人であった。

都道府県別では、最も多かったのは兵庫県 206 人、次いで東京都 145 人、大阪府 117 人、北海道 66 人、神奈川県 62 人であった。市区町村別では、最も多かったのは尼崎市 120 人、次いで大阪市 56 人、神戸市 35 人、横浜市 26 人、京都市 20 人であった。

(8) 尼崎市の詳細集計（ばく露(工)分類）

アンケート回答者のうち、ばく露分類が(工)であり、対象期間である昭和 20 年～平成元年（1945 年～1989 年）間に尼崎市に居住歴がある者について、行政地区、時点（昭和 30 年、40 年、50 年、60 年）によるクロス集計を行った。

行政地区は中央地区、小田地区、大庄地区、立花地区、武庫地区、園田地区の 6 地区とし、記述不十分等により分類できない場合は地区不明とした。

< 医療費・未申請弔慰金アンケート回答者 >

最長居住歴による集計

最長居住歴による集計において、それぞれの地区に最も長く居住していた者は、中央地区 28 人、小田地区 129 人、大庄地区 3 人、立花地区 7 人、武庫地区 0 人、園田地区 19 人、地区不明 10 人であった。

対象期間居住歴による集計

対象期間居住歴による集計において、各地区に居住歴のある者は、中央地区 54 人、小田地区 177 人、大庄地区 17 人、立花地区 23 人、武庫地区 10 人、園田地区 36 人、地区不明 24 人であり、合計で延べ 341 人であった。

< 施行前弔慰金アンケート回答者 >

最長居住歴による集計

最長居住歴による集計において、それぞれの地区に最も長く居住していた者は中央地区 14 人、小田地区 68 人、大庄地区 4 人、立花地区 8 人、武庫地区 4 人、園田地区 12 人、地区不明 10 人であった。

対象期間居住歴による集計

対象期間居住歴による集計において、各地区に居住歴のある者は、中央地区 21 人、小田地区 107 人、大庄地区 8 人、立花地区 24 人、武庫地区 9 人、園田地区 22 人、地区不明 24 人であり、合計で延べ 215 人であった。

( 9 ) 環境省石綿健康リスク調査関連地域におけるばく露分類別集計

アンケート回答者のうち、昭和 20 年～平成元年（1945 年～1989 年）の期間に環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者について、支給種別及びばく露分類別に集計を行った。環境省石綿健康リスク調査関連地域とは、横浜市鶴見区、岐阜県羽島市、大阪府泉南地域等、兵庫県尼崎市、奈良県王寺町及び斑鳩町、北九州市門司区、佐賀県鳥栖市の 7 地域である。

医療費・未申請弔慰金アンケート回答者

医療費・未申請弔慰金調査対象者でのアンケート回答者 3,747 人（医療費 3,299 人、未申請弔慰金 448 人）のうち、環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者は延べ 619 人であった。地域ごとに見ると横浜市鶴見区 44 人、岐阜県羽島市 17 人、大阪府泉南地域等 69 人、兵庫県尼崎市 378 人、奈良県王寺町及び斑鳩町 25 人、北九州市門司区 81 人、佐賀県鳥栖市 5 人であった。

ばく露分類の内訳は（ア）235 人（38.0%）（イ）21 人（3.4%）（ウ）11 人（1.8%）（エ）352 人（56.9%）であった。

施行前弔慰金アンケート回答者

施行前弔慰金調査対象者でのアンケート回答者 3,058 人のうち、環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者は延べ 335 人であった。地域ごとに見ると横浜市鶴見区 31 人、岐阜県羽島市 6 人、大阪府泉南地域等 38 人、兵庫県尼崎市 205 人、奈良県王寺町及び斑鳩町 13 人、北九州市門司区 38 人、佐賀県鳥栖市 4 人であった。

ばく露分類の内訳は（ア）104 人（31.0%）（イ）8 人（2.4%）（ウ）2 人（0.6%）（エ）221 人（66.0%）であった。

( 10 ) 生年別集計

アンケート回答者でばく露分類のある胸膜中皮腫の者について、医療費アンケート回答者は療養開始年齢を、未申請弔慰金アンケート回答者は死亡時年齢を用いて生年別に集計した。



ばく露分類のあるアンケート回答者

ばく露分類のある胸膜中皮腫の者は 1,847 人であった。最も多かったのは生年 1940～1944 年で療養開始年齢 65～69 歳が 243 人で、次いで生年 1935～1939 年で療養開始年齢 70～74 歳が 194 人であった。

なお、男女別の集計でも同様の傾向であった。

ばく露分類（ア）のアンケート回答者

ばく露分類（ア）の胸膜中皮腫の者は 999 人であった。最も多かったのは生年 1940～1944 年で療養開始年齢 65～69 歳が 144 人で、次いで生年 1935～1939 年で療養開始年齢 70～74 歳が 126 人であった。

なお、男女別の集計でも同様の傾向であった。

ばく露分類（エ）のアンケート回答者

ばく露分類（エ）の胸膜中皮腫の者は 752 人であった。最も多かったのは生年 1940～1944 年で療養開始年齢 65～69 歳が 90 人で、次いで生年 1935～1939 年で療養開始年齢 70～74 歳が 63 人であった。

なお、男女別の集計でも同様の傾向であった。

以下の事項について、今後の参考とするためアンケートにご協力ください。

なお、本アンケートの結果は、個人を特定できないように統計的処理をした上で、環境省及び環境再生保全機構が実施する調査事業等に使用し、公表することがあります。

居住歴、職歴等がこのアンケート用紙で書ききれない場合は、別の用紙に記入して添付してください。

(※ご記入いただいた個人情報、ご記入いただいた方の同意がある場合若しくは法令等の規定により必要となる場合を除き、第三者に提供又は開示いたしません。)

申請者とのご関係

申請者のお名前 \_\_\_\_\_

記入した方のお名前 \_\_\_\_\_

配偶者・子・父母・兄弟姉妹  
その他( )

① 申請者の出生から現在までの居住歴を記入してください。

居 住 期 間	住 所	近くに石綿 取扱施設
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無

② 申請者の現在までの職歴を記入してください。(学生時代のアルバイトなど短期間の仕事も含めて記入してください。)

在 籍 期 間	職 種	所 属 した 事 業 所 ( 企 業 ) 名 所 在 地	事業所での 石綿の取扱	近くに石綿 取扱施設
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無

③ 申請された方は、今まで下記の作業に従事したことがありますか。

アルバイトなどの短期間の仕事も含めて、当てはまるものすべての口にレ印をつけてください。

- |  |   |  |
|--|---|--|
| (1) <input type="checkbox"/> 石綿製品製造業           | (8) <input type="checkbox"/> 解体作業             | (15) <input type="checkbox"/> 化学工場内の作業               |
| (2) <input type="checkbox"/> 石綿(石綿含有岩綿等)吹きつけ作業 | (9) <input type="checkbox"/> 港湾での作業           | (16) <input type="checkbox"/> 清掃工場・廃棄物回収の作業          |
| (3) <input type="checkbox"/> 配管・断熱・保温・ボイラー関連作業 | (10) <input type="checkbox"/> 鉄鋼所及び鉄製品製造作業    | (17) <input type="checkbox"/> 車両(電車等)製造維持補修作業        |
| (4) <input type="checkbox"/> 石綿のある倉庫内の作業       | (11) <input type="checkbox"/> 自動車製造業・自動車整備工   | (18) <input type="checkbox"/> その他石綿に関連する作業           |
| (5) <input type="checkbox"/> 石綿原綿・石綿製品運搬業      | (12) <input type="checkbox"/> ガラス製品製造に関わる作業   | ( )  |
| (6) <input type="checkbox"/> 造船所内の作業           | (13) <input type="checkbox"/> セメント製品製造に関わる作業  | (19) <input type="checkbox"/> (1)～(18)に該当する作業はしなかった。 |
| (7) <input type="checkbox"/> 建築・建設関連作業         | (14) <input type="checkbox"/> レンガ、陶磁器製造に関わる作業 | (20) <input type="checkbox"/> わからない                  |

④ 申請された方は、ご家庭で下記のような経験をしたことがありますか。当てはまるものすべての口にレ印をつけてください。

- (1)  申請された方のご家族が石綿を扱う仕事をしており、作業着・マスクや道具を自宅に持ち帰っていた。  
 (2)  石綿に関する作業が、自宅で行われた。  
 (3)  (1)～(2)に該当することはなかった。 (4)  わからない

⑤ 申請された方は、その住居、職場に関連して下記のような経験をしたことがありますか。

当てはまるものすべての口にレ印をつけてください。

- |  |  |
|--|--|
| (1) <input type="checkbox"/> 自宅の天井や壁に石綿が吹き付けられていた。             | (4) <input type="checkbox"/> 職場以外の石綿取扱施設に出入りをしていた。 |
| (2) <input type="checkbox"/> 職場の天井や壁に石綿が吹き付けられていた。             | (5) <input type="checkbox"/> (1)～(4)に該当することはなかった。  |
| (3) <input type="checkbox"/> (1)、(2)以外の石綿が吹き付けられていた建物に出入りしていた。 | (6) <input type="checkbox"/> わからない。                |

以下の事項について、今後の参考とするためアンケートにご協力ください。

なお、本アンケートの結果は、個人を特定できないように統計的処理をした上で、環境省及び環境再生保全機構が実施する調査事業等に使用し、公表することがあります。

居住歴、職歴等がこのアンケート用紙で書ききれない場合は、別の用紙に記入して添付してください。

(※ご記入いただいた個人情報は、ご記入いただいた方の同意がある場合若しくは法令等の規定により必要となる場合を除き、第三者に提供又は開示いたしません。)

亡くなった方とのご関係

亡くなった方のお名前

記入した方のお名前

配偶者・子・父母・兄弟姉妹  
その他( )

① 亡くなった方の出生から死亡時までの居住歴を記入してください。

居 住 期 間	住 所	近くに石綿 取扱施設
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無

② 亡くなった方の死亡時までの職歴を記入してください。(学生時代のアルバイトなど短期間の仕事も含めて記入してください。)

在 籍 期 間	職 種	所 属 した 事 業 所 ( 企 業 ) 名 所 在 地	事業所での 石綿の取扱	近くに石綿 取扱施設
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無

③ 亡くなった方は、今まで下記の作業に従事したことがありますか。

アルバイトなどの短期間の仕事も含めて、当てはまるものすべての□にレ印をつけてください。

- (1)□石綿製品製造業
- (2)□石綿(石綿含有岩綿等)吹きつけ作業
- (3)□配管・断熱・保温・ボイラー関連作業
- (4)□石綿のある倉庫内の作業
- (5)□石綿原綿・石綿製品運搬業
- (6)□造船所内の作業
- (7)□建築・建設関連作業
- (8)□解体作業
- (9)□港湾での作業
- (10)□鉄鋼所及び鉄製品製造作業
- (11)□自動車製造業・自動車整備工
- (12)□ガラス製品製造に関わる作業
- (13)□セメント製品製造に関わる作業
- (14)□レンガ、陶磁器製造に関わる作業
- (15)□化学工場内の作業
- (16)□清掃工場・廃棄物回収の作業
- (17)□車両(電車等)製造維持補修作業
- (18)□その他石綿に関連する作業
- (19)□(1)～(18)に該当する作業はしなかった。
- (20)□わからない

④ 亡くなった方は、ご家庭で下記のような経験をされたことがありますか。当てはまるものすべての□にレ印をつけてください。

- (1)□亡くなった方のご家族が石綿を扱う仕事をしており、作業着・マスクや道具を自宅に持ち帰っていた。
- (2)□石綿に関する作業が、自宅で行われた。
- (3)□(1)～(2)に該当することはなかった。
- (4)□わからない

⑤ 亡くなった方は、その住居、職場に関連して、下記のような経験をされていませんか。

当てはまるものすべての□にレ印をつけてください。

- (1)□自宅の天井や壁に石綿が吹き付けられていた。
- (2)□職場の天井や壁に石綿が吹き付けられていた。
- (3)□(1)、(2)以外の石綿が吹き付けられていた建物に出入りしていた。
- (4)□職場以外の石綿取扱施設に出入りしていた。
- (5)□(1)～(4)に該当することはなかった。
- (6)□わからない。

お問い合わせ先

---



独立行政法人環境再生保全機構 石綿健康被害救済部

〒212-8554

神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 番 ミューザ川崎セントラルタワー9 階

TEL : 044-520-9615

FAX : 044-520-2193

Web : <http://www.erca.go.jp/asbestos/>

---

平成 27 年 5 月発行